

第2回 理事会

日 時：令和3年5月19日(水)14:00~17:00

場 所：Web会議

出席者：長田会長(議長)、伊藤副会長、清水副会長、
末永常務理事、秋山、池見、大沼、奥村、小俣、
北田、佐々木、竹村、富岡、西山、長谷川(信)、
船山、升元、三好、和田各理事
野村、齋藤各監事
欠席者：稲垣、太田、大谷、徳永、長谷川(淳)、
林各理事
(理事25名中19名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

1. 前回議事録の確認

- ・令和3年4月27日開催の第1回理事会の議事録案について承認した。

2. 審議事項

1) 会員状況の確認

- ・事務局長から5月19日時点の会員状況について説明があり、12名の正会員、6名の学生会員の入会を承認した。
- ・正会員1,812名、学生会員41名、名誉会員57名となり、総数は1,910名であることを確認した。

2) 委員の承認

- ・事業企画委員会より1名、応用地質学教育普及委員会より1名、土木地質研究部会より1名、ダイバーシティ推進特別委員会より1名の計4名の新任の委員について承認した。

3) 今年度予算案について

- ・事務局長より、標記の説明があり、今年度予算案を承認した。

4) 令和3年度定時社員総会開催方法について

- ・末永常務理事より、標記の説明があり、令和3年度定時社員総会は令和2年度と同様の方法で進めることを承認した。
- ・代議員の議決権行使書には、各議案への議決(賛成・反対・保留)に対するコメントや質問事項が記載できるよう、欄を追記すること、書類の誤字を修正するようコメントがあった。

5) 令和3年度定時社員総会資料案について

- ・常務理事より説明があり、議論の結果、令和3年度定時社員総会資料案について、承認した。
- ・総会資料については、5月24日までに末永常務理事より修正した最新版を理事・監事各位に送付し、修正意見があれば6月5日までに指摘することとなった。
- ・監事より、監査において行われた議論として、支部

において当初予算に計上されていない資産購入等支出については、事前に理事会に説明する必要があるのではないかといった内容が紹介された。

- ・今年度予算として、赤字を計上している支部については、その内容について後日説明頂くこととなった。

6) 令和3年度研究発表会での共催について

- ・常務理事より、標記の説明があり、令和3年度研究発表会を九州応用地質学会と共催で開催することを承認した。
- ・九州応用地質学会の分担金の負担はないものの、研究発表会の開催準備や見学会の補助など、分担する内容を明記した方が良いとのコメントがあった。

7) CPD発行のための印章の電子化について

- ・常務理事より説明があり、CPD証明書発行における事務処理の軽減のため、学会の印章を捺印した文書を電子化し参加者に配信することを承認した。
- ・ただし、CPD証明書は認定者のみが利用できるような制限をかける必要があるとの意見があり、継続して事業企画委員会で検討することとなった。
- ・現在、学会のCPDは、運用に関して十分議論されていない。このため、学会でCPD協議会に参加する担当理事を中心に、学会における今後のCPDのあり方(登録作業の簡素化、証明書発行の方法、非会員の取り扱いなど)について、議論を行っていくこととなった。

3. 本部からの報告事項

1) 理事会議事録への署名・押印方法について

- ・末永常務理事より説明があり、令和2年第3回~令和2年第11回議事録への押印方法について確認した。議論の結果、関東圏在職の理事・監事の押印のスケジュールを調整することが困難であることから、関東圏以外に在職の理事の押印(郵送)を先行して行い、事務局に返送され次第、6月18日の総会までに関東圏在職の理事・監事に押印頂くスケジュールに変更した。

2) Facebookを用いた広報の試行について

- ・担当理事より説明があり、今年度開催のシンポジウムについて、Facebookを用いて広報を試行することが確認された。
- ・学会のソーシャルメディアポリシーについては、今回の試行を踏まえ、適宜修正を加えたのち、公表する前に理事会に諮ることとなった。

3) 新型コロナウイルス感染症対応について

- ・常務理事より説明があり、5月31日までが期限となっている緊急事態宣言等を受けた対応が報告された。

4) JSRM/JSEG共催国際火山WS進捗について

- ・会長より説明があり、9月に開催されるWSの準備状況が確認された。9月9日より開催されるWSには、是非参加頂きたいとのことであった。

5)他学協会からの依頼

- ・常務理事より、水資源機構から寄せられたダム地質カードに関する問い合わせへの対応について説明があった。問い合わせに対する回答の内容について、確認された。
- ・末永常務理事より、地盤工学会「地盤材料試験に関する技能試験」の後援について説明があり、後援に承諾することが確認された。
- ・末永常務理事より、日本原子力学会廃炉検討委員会の第5回シンポジウムへの後援について説明があり、後援に承諾することが確認された。

6)キャリアデザインセミナーについて

- ・担当理事より説明があり、6月22日に第1回セミナーが開催されることが確認された。多数に参加頂きたいとのことであった。

7)その他

- ・担当理事より、ダム地質カードカレンダーの経緯について説明があった。ダム・カード展が再び延期となっていることを受け、カレンダーの印刷対応を一旦白紙に戻すことが報告された。ただし、学会誌の12月号の送付に合わせ、会員用に来年のカレンダーを折り込み配布するよう進めていくことが確認された。

4. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

1)総務委員会

- ・常務理事より、5月13日開催の総務委員会の議事内容が報告された。
- ・CPDに関する議論の経緯、第2回日本応用地質学会表彰の取り扱い、支部会計の公認会計士からの指摘事項について確認された。

2)研究企画委員会

- ・担当理事より、4月28日開催の事業企画委員会の議事内容が報告された。
- ・今年度先端技術ワークショップの開催時期・内容、一家に1枚ポスター企画の進捗状況について確認された。